

MRI造影剤使用(注射)の説明書・同意書

【日立製作所ひたちなか総合病院 地域連携用】

造影剤に関する説明

1. MRI造影剤とは？

ガドリニウムを含んだ製剤で血管内に注射し使用します。
病気の種類によっては造影剤を使用して初めて診断可能なものもあります。

2. 副作用の種類や発生頻度

造影剤は他の薬と同様に副作用が出現することがあります。

【軽度】かゆみ・発赤・発疹、悪心・嘔吐(1~2%)

検査後数時間以降に発疹などの症状がでることがありますが、【軽度】のものがほとんどです。

【重篤】呼吸困難・血圧低下・意識消失(0.05%以下 1万人に5人以下)

ごくまれに死亡例も報告されています。

3. 造影剤使用時の合併症

造影剤の静脈外皮下への漏出や抜針後の小出血が発生する場合があります。

4. 検査の必要性

造影剤にはこうした副作用が起こる可能性があります。主治医はあなたの病気を診断し治療するうえで造影剤を使用した検査が非常に重要であると考えています。

造影剤使用に関する問診

* MRI造影剤の使用経験はありますか？

1. なし 2. あり

→「2.あり」の場合そのとき「帰宅後も含めて」副作用(発疹、悪心、嘔吐、血圧低下)がありましたか？

1. なし 2. あり→原則、造影検査は不可

* 腎臓の働きが悪い(腎機能障害)といわれたことはありますか？

1. なし 2. あり: (時期) 透析をしている

* 気管支喘息と言われたことはありますか？

1. なし 2. あり 治療している・過去に喘息と言われたが治療は行っていない

↳ ※気管支喘息治療中の場合、原則、造影検査は不可

* 糖尿病といわれたことはありますか？

1. なし 2. あり(投薬している) 3. あり(投薬していない)

→ 投薬している場合、検査前の食事を抜くので投薬指導を行ってください

ご質問がある場合、ご相談ください。

質問

回答

下記患者さまに対し、造影剤の必要性と起こりえる副作用、合併症などについて説明を行いました。

説明日 年 月 日

説明者 _____

私は造影剤の投与を受けることに同意します。

また、副作用が現れた場合には必要な処置を受けることを承諾します。

承諾日 年 月 日

患者署名 _____

本人署名ができない場合は、代理人の署名をお願いいたします。(続柄: _____)